

教えて！

まちづくり活動応援補助金のこと



どんな団体が対象？

市内で活動し、3人以上で構成されており、規約等の定めにより活動している団体です。（メンバーの半数以上が市内に在住、在勤または在学の方）

どんな事業が対象？

団体が実施する自主的なまちづくり事業で、観光振興や健康・福祉、芸術・文化などの生涯学習の振興などの事業です。

期間はどれくらい？

原則として1年限りの事業です。複数年にわたる事業は、3年を限度として補助対象になる場合があります。

補助金はどれくらい？

対象となる経費から収入を差し引いた額（上限50万円）です。複数年にわたる事業については、自立・発展性の観点から年々減額となります。

申請したいのですが

毎年3月頃募集を行います。申請方法は広報うだやホームページに掲載します。予算成立が前提のため、内容など変更もあります。ご了承ください。

※詳しくは問へお問い合わせください。



まちづくり支援課 林

活動している団体

新規 うだ子ども能楽教室

団体名：うだ子ども能楽教室



楽しみながら身につく礼儀作法と能楽

スタッフ9人で準備を進め、9月から大宇陀小学校多目的教室で「うだ子ども能楽教室」を開始。現在9人の子どもたちが月2回各1時間程度、プロの能楽師の先生から、謡や仕舞を楽しく元気に学んでいます。伝統文化の「能楽」を能楽師から教わることで、子どもたちは心が豊かになり、また正しい礼儀作法が身に付きます。その成果は毎年6月開催の「あきの螢能」などで発表します。能を通じて郷土に愛着を持ち、伝統行事に関心を持てるよう願っています。

宇陀の魅力のひとつになれば

普段から「あきの螢能」に関わるスタッフが、後世に続けていきたい伝統行事として、子どもの頃から慣れ親しんでもらえるよう立ち上げました。子どもたちだけでなく、保護者同志も交流し、「能」を中心とした輪が広がることを期待します。



宇陀スカイランタン
フェスティバルの様子



宇陀市では平成23年度から、「まちづくり活動応援補助金」の交付事業を行っています。市民が主役のまちづくり・地域の個性を生かしたまちづくりの実現に向けてボランティアや市民グループなど、皆さんのまちづくり活動をバックアップしています。今回の特集では、これらの団体の思いや取り組みについて紹介します。

～市内で活躍する市民団体を紹介（まちづくり活動応援補助金採択団体）～

このまちがすき！

問 まちづくり支援課
(☎ 82・3910 / IP ☎ 88・9094)

特集

これまでの実績

今年度までにたくさんの団体の方が企画・立案し、宇陀市のために活躍されています。

平成23年度	10団体
同24年度	8団体
同25年度	7団体
同26年度	6団体
同27年度	6団体
同28年度	7団体
同29年度	6団体
同30年度	7団体
今年度	8団体



プレゼンテーションの様子

まちづくり活動応援補助金は、市内で活動していただいている団体が行う新たな取り組みに対して、補助金を交付することで、市民や団体による主体的な地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的としています。

補助金をご活用いただくには、事業のプレゼンテーションを行い、審査を受けていただく必要があります。事業が完了すれば成果報告を行っていただきます。

現在、全国多くの自治体では、地域活性化に有効な手段が見いだせていないのが現状で、大きな課題となっています。

す。そのような中で、地域の団体にまちづくり活動応援補助金をご活用いただき、様々な活動を通して、宇陀市の魅力発信や、市外からの誘客による関係人口の創出などに大きな役割を果たしていただいております。

今後、限られた予算の中ですが、この事業をはじめ、アイデアあふれる地域活動の支援を継続して行きます。



まちづくり支援課長 山口

宇陀市の魅力発信のために

3
年目

宇陀スカイランタンフェスティバル

団体名：宇陀スカイランタンプロジェクト



夜空にきらめくみんなの願いと想い

自然豊かな宇陀市の澄んだ夜空に幻想的な灯りとともに、たくさんの想いや夢が詰まった「スカイランタン」を打ち上げました（P2の写真）。

近隣の市町村や県内外の方に宇陀市の魅力をアピールできるイベントとして開催し、夏祭り・秋祭りに続く宇陀市の新しい観光資源になるよう願いを込めて計画しました。今年は6月23日に開催し、約500人の方の願いを乗せたスカイランタンが夜空いっぱいに広がりました。



スカイランタン打ち上げ前のオープニングセレモニー



地元の太鼓台の担ぎ出しや、特産物を活かした飲食ブースなども出店

今後も地域づくりを目指して

3年目を迎え、自分たちの団体や活動が少しでも行政と関わることで、より地域の活性化につながると考え申請しました。同じ志をもった者が集まったことで来場者を含むすべての方との強いつながりや絆となりました。今後も様々な手法を試行錯誤し、地域づくりにつなげたいと思います。たくさんの方の協力のもと無事終了できました。ありがとうございました。

2
年目

室生原山にぎわいの拠点づくり事業

団体名：三郎岳景観石仏群保存会



先人が作ってくれた石仏を残したい

室生下田口原山地区にある三郎岳には、山つつじ・山桜が自生し、冬には樹氷が見られるなど景観が良く、石仏群などの遺産も残っています。見晴らし台から見える景色（表紙の写真）は絶景で、安心して旅ができるよう、登山道路の整備や案内板の設置などを行いました。また、登山客のための「さあ 行こう原山 登ろう 三郎岳」のパンフレットも作成しています。



珍しい磨崖仏が多く残っています

皆さんに見てもらいたい景色

子どもの頃、遠足で登った三郎岳から見た景色が忘れられず、地元の協力のもと少しずつ環境整備が実現しています。今後は、市民の方や地元の方との交流ができるようなイベントを計画していきます。ぜひお越しください。



登山道に設置した簡易トイレ

新規

芳野城を中核にした地域活性化事業（芳野城夢プラン）

団体名：芳野城を守る会



昔からあるものを知ってもらい、後世に残したい

菟田野芳野地区にある芳野城跡を整備し、観光資源に活用できるように、スタッフ35人と地域住民と共同で、道の整備や草刈り、案内板の設置などを行っています。今年度は、芳野城跡に向かう道の3分の1を整備し、案内看板も設置できました。また、芳野地域の歴史を学ぶことでスタッフや地域住民の連帯意識を高め、地域の活性化につながるよう、学習会や地域を巡るバスツアーを開催しました。



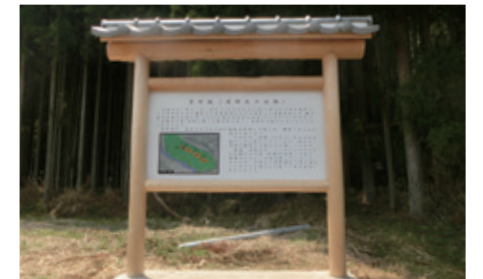
地域の方も一緒に整備作業



整備後

地域と一緒に力を合わせ

地元に住んでいる多くの方は、芳野城跡のことをよく知りません。まず自分たちで学ぶ機会を作り、芳野城跡を中心にみんなで地域を盛り上げていきます。整備後は、市民の方にも来訪いただき、悠久の歴史を感じてほしいと思います。



案内看板の設置

活動している団体

2
年目

べんいち 一魂心会による室生活活性化計画！室生寺もみじ祭りに於ける『お客様に対するおもてなし』

団体名：べんいち 一魂心会



私たちがおもてなしします

自分たちも元気になれる“おもてなし”

「観光誘致」「地域活性化」「環境美化」の3つの柱を中心に活動しています。「観光誘致」として室生寺前バス停の待合所をメンバー手作りで建設。「地域活性化」として毎年11月に行われる「室生寺もみじ祭り」でのお出迎えの提灯を設置。また、暖を取れる小休憩スペースや、温かい飲食物の屋台を出店し、おもてなしを行いました。「環境美化」としてあさぎり公園周辺の緑化を行いました。



市民や観光客の笑顔のために

宇陀市を代表する観光スポット「女人高野室生寺」。近年直面している観光客の減少と室生地域の衰退化に歯止めをかけるため、室生寺の若手僧侶と地域住民により発足しました。今後も地域の方や観光客の笑顔を増やして盛り上げていきます。



温かいこんにゃく屋台の出店

3
年目

～町おこしは人おこし～ 魅力発見 ♪うたの手づくりフェスタ♪

団体名：うたの夢街道実行委員会



「何にもない町」から「何でもできる“ええ町”」に

「健康なからだを作ろう、手づくりしよう」を軸に、宇陀市内で活躍する人やものに触れて、人や地域を知り、体験を通じて交流が深められる事業「♪うたの手づくりフェスタ♪」を10月27日に開催しました。見るだけ、聞くだけでなく、経験することで得られる「新しい気づき」。体験を通じて、ひと・こと・もの・地域を知り、「答えは自分の枠の外にある」と気づけば、新しいチャレンジは不安から楽しみになるのではないのでしょうか。



明日への一歩につながる町を目指して

「町おこしは人おこし」のタイトル通り、一緒に参加し体験することで、新しい可能性に気づける場を作りたいと思い申請しました。地域資源である木材・毛皮革を生かした新しい試みを模索し、今後も「気づき」から「行動へ」を目標に継続できるよう、がんばりたいと思います。皆さん一緒に“ええ町”を作りましょう。



2
年目

空き家改修の民家を利用した市民による 市民の為の市民文化講座

団体名：にっこり会



生徒も先生も元気になる楽しい講座

市民の自主性と主体性を引き出し、市民が自ら開催時期や参加費、講師などを考え、ニーズに応じた様々な市民講座を大宇陀下本にある空き家を改修した民家で行っています。

子どもから高齢者まで多世代の交流の場づくりとして、茶道教室や料理教室、和菓子教室、大正琴教室、着付け教室、紙芝居教室、踊りの教室などを定期的に開催しています。



和菓子教室で作った「若鮎」

毎日忙しいが楽しい

町おこしのために何かできないか考え、毎月多くの教室を開催しています。和菓子教室で作ったお菓子を茶道教室のお菓子として利用するなど、それぞれの教室がつながることで、人やまちの活性化になればと願っています。皆さんも新しいアイデアを出して町おこしをしましょう。



活動している団体

2
年目

日本刀の祖「天国（あまくに）」の郷を訪ねて！

団体名：宇陀市の神話と歴史を考える会



刀制作の様子

日本刀発祥の地

社伝によると、『文武天皇の大宝元年（701）、刀匠天国が稲津社境内（菟田野稲戸地区）の霊水によって、日本刀の小烏丸（こがらすまる）を造る』とあり、当地は「日本刀発祥の地」として、発信していきたいと考えています。

7月20日に「日本刀の祖『天国』の郷を訪ねて」とし、天国の井戸（八坂神社）や国宝宇太水分神社、現在名工の河内國平氏の國平鍛刀場での刀制作見学を行い、たくさんの方に参加いただきました。



菟田野稲戸にある天国の井戸

活動の輪を広げていきたい

宇陀市には多くの神話・歴史・文化遺産があります。あまり知られていない文化遺産などを巡り、知ることによって「町おこし」につなげ、市内外に発信していくため申請しました。今後は天国の井戸も整備していきます。宇陀市に伝わる民話や伝説を探究し、活発なまちづくりを一緒にしましょう。



國平鍛刀場で刀の説明を受ける

宇陀市が活性化するための「まちづくり」に、市民一人ひとりができることは、直接活動ができなくても、こんな活動をしている人たちがいることを知ること、その催しに参加すること、そして周りに伝えることも大切なことかもしれません。

